

2021 衆院選の終盤情勢

日本経済新聞社が26～28日に実施した終盤情勢調査で4区の選挙区で自民、公明両党と野党勢力が接戦となっている。与党が引き離れた選挙区や、立憲民主党など5野党の

(1面参照)

与野党対決

甘利、太と接戦に 神奈川13区 谷田川を林が猛追 千葉10区

北海道10区(公) 神谷 裕 53〇立前 稲津 久 63 公前 立民と公明の一騎打ち。終盤戦まで横一線の戦いが続く。神谷は立民支持層と候補者擁立を見送った共産支持層のそれぞれ9割をまとめ、無党派層にも浸透する。稲津は自民の全面的な支持を受けて、高齢者層など自民支持層の8割に食い込んだ。

秋田2区(自) 金田 勝年 72〇自前 緑川 貴士 36〇立前 金田と緑川が激しく競る。金田は与党支持層の8割を固めた。サラリーマン層などにも浸透し、支持拡大を目指す。緑川は立民支持層に加えて候補者擁立を見送った共産支持層の8割を固めた。無党派層や自民支持層の一部にも食い込む激戦の様相。

山形1区(自) 原田 和広 48〇立前 遠藤 利明 71〇自前 党選挙対策委員長の遠藤が実績、知名度で引き離れた。後援会がフル稼働し、自民支持層をほぼ固め、公明支持層の8割にも食い込んだ。野党統一候補の原田は立民支持層の9割、共産支持層の8割をまとめた。無党派層への浸透に注力する。

栃木4区(自) 佐藤 勉 69〇自前 藤岡 隆雄 44〇立前 佐藤と藤岡がなお激しく争う。前党総務会長の佐藤が実績や知名度を背景に、自民支持層の8割を固めた。公明支持層からの支持拡大を目指す。野党統一候補の藤岡は立民、共産支持層の9割をまとめた。無党派層のさらなる浸透により、逆転をめざす。

千葉10区(自) 今留 尚人 56 無新 梓 まり 50 諸新 谷田川 元 58〇立前 林 幹雄 74 自前 谷田川が林との僅差の優位を保つ。谷田川は立民支持層の9割、共産支持層の8割を固めた。自民支持層の一部にも浸透する。ベテランの林は自民、公明支持層をまとめきれていない。後援会組織の引き締めをはかり、最終盤での逆転を狙

う。 東京18区(立) 長島 昭久 59〇自前 子安 正美 71 無新 菅 直人 75〇立前 知名度で勝る元首相の菅がわずかなリードを維持して終盤戦を迎えた。立民、共産支持層の9割をまとめ、無党派層など幅広い層から支持を集めた。前回当選の東京21区からくら替えした長島は与党支持層に浸透し、逆転をめざす。子安は独自の戦い。

神奈川5区(自) 山崎 誠 58〇立前 坂井 学 56〇自前 山崎が菅義偉政権の官房副長官、坂井に一步先行する。野党統一候補の山崎は立民、共産支持層の9割をおさえた。無党派層の5割にも浸透する。坂井は副長官の実績を訴え、自民支持層の8割を固めた。無党派層にも切り込み、最終盤で追い上げる。

神奈川13区(自) 太 栄志 44〇立前 甘利 明 72〇自前 党幹事長の甘利が太と接戦になっている。自民支持層の8割、公明支持層の6割を固めた。終盤は本人が地元に戻り、組織引き締めの陣頭指揮をとる。太は立民支持層の9割と候補者擁立を見送った共産支持層の8割をまとめた。無党派層の4割にも浸透する。

新潟3区(無) 黒岩 宇洋 55〇立前 齋藤 洋明 44〇自前 序盤はやや劣勢だった齋藤が後援会組織などをテコに巻き返し、黒岩をかわしつつある。齋藤は自民、公明両党の支持層をほぼ固めた。若年層を中心に支持を上げ逃げ切りをめざす。黒岩は野党支持層の8割強をおさえ、無党派層の支持拡大に力をつける。

福井2区(自) 高木 毅 65〇自前 齊木 武志 47〇立前 「保守王国」の異名をとる福井で、高木と齊木の接戦が続く。高木は後援会組織を中心に自民支持層の8割、公明支持層の6割をおさえた。野党が一本化した齊木は立民や共産各支持層の9割を固めた。無党派層の過半にも浸透し、激しく

追い上げる。 鳥取2区(自) 赤沢 亮正 60〇自前 湯原 俊二 58〇立前 自民、立民の2候補が激突。赤沢が保守基盤を固め、後半戦で湯原を突き放した。自民や公明の各支持層の8割をおさえ、高齢者層に支持を広げた。湯原は立民支持層の9割に浸透するなど野党支持層に食い込んだ。無党派層への切り込みをはかる。

岡山2区(自) 山下 貴司 56〇自前 津村 啓介 50〇立前 山下がわずかに優位に立つ。法相を務めた実績を武器に自民支持層の9割近くに浸透。高齢者からの支持を集めて逃げ切りをはかる。津村は立民支持層を中心に野党支持層の8割弱を固めた。自民への批判票を取り込み、追い上げ態勢を整える。

大分2区(自) 衛藤 征士郎 80 自前 吉川 元 55〇立前 立民に合流した吉川と13選を狙う衛藤が一進一退の攻防。吉川は立民支持層をほぼ固めた。専業主婦や高齢者層でも衛藤を上回り、さらなる上積みをめざす。衛藤は自民支持層は8割、公明支持層は7割をおさえた。実績を訴え、議席死守に動く。

大分3区(自) 横光 克彦 77〇立前 岩屋 毅 64〇自前 岩屋が横光との接戦を制しつつある。防衛相などの実績や知名度をいかし、自民支持層の9割近くをおさえた。高齢層の過半から支持を集め、野党支持層にも浸透しつつある。横光は立民や共産支持層の9割近くを固めたが、最終で伸び悩んでいる。

沖縄4区(自) 西銘 恒三郎 67〇自前 金城 徹 68〇立前 金城が沖縄・北方担当を兼務する復興相の西銘に先行する。立民や共産の各支持層の9割をおさえた。公明支持層の2割強もとどろき、支持の幅を広げる。西銘は沖縄政策を訴え、自民支持層の9割を固めた。高齢層などへの浸透に課題を残す。

う。 江崎は自民支持層の6割強、公明支持層の8割弱をまとめた。杉本は維新支持層の9割弱を固め、自民支持層の2割ほどに食い込む。藤原は立民支持層の7割に浸透する。無党派層からの支持は杉本と藤原が2割弱で並ぶ。

大阪7区(自) 奥下 剛光 46〇維新 渡嘉敷 奈緒美 59〇自前 川添 健真 39 共新 乃木 涼介 57〇立前 西川 弘城 56〇れ新 奥下が渡嘉敷をやや先行する。奥下は維新支持層の9割を固めた。自民支持層の2割にも浸透する。無党派層の3割の支持も得る。渡嘉敷は自民、公明各支持層の7割ほどをまとめた。乃木は立民支持層の8割弱をおさえた。川添は党勢拡大を目指す。

小野 範和 48〇立前 吉川 赳 39〇自前 千田 光 43 諸新 保守分裂の戦い。無所属の細野が優位を維持する。自民支持層の6割をまとめた。立民支持層の3割、無党派層の4割にも浸透する。高い知名度で幅広い年齢層から支持を得る。小野は立民支持層の6割、吉川は自民支持層の4割しかおさえていない。公明支持層は吉川と細野が分け合う。



候補者らの街頭演説を聞く有権者
一部画像処理しています

野党競合

奥下がやや先行 大阪7区

東京3区(自) 松西 克介 45 共新 松原 仁 65〇立前 石原 宏高 57〇自前 松原と石原がなお接戦。松原は立民支持層の8割、無党派層の5割を固めた。サラリーマン層の5割弱にも浸透する。高齢層の支持も厚い。石原は自民、公明各支持層の7割をまとめた。松原は共産

支持層の8割を固め、埋没回避に全力をあける。 愛知10区(自) 江崎 鉄磨 78 自前 安井美沙子 56〇立前 藤原 規真 43〇立前 飯倉 正文 63 共新 杉本 和巳 61〇維前 江崎と杉本が引き続き競り、藤原が追

その他

柿沢と井戸 接戦 東京15区

東京15区(自) 桜井 誠 49 諸新 井戸 正枝 55〇立前 柿沢 未途 50 無前 猪野 隆 56 無新 今村 洋史 59 無元

金沢 結衣 31〇維新 吉田 浩司 61 無新 自民が無所属2人に異例の推薦を出した。柿沢と井戸がなお激しく争う。柿沢は保守分裂の影響で自民支持層を4割しかまとめ切れていない。公明支持層の6割弱に浸透する。選挙区を変更した井戸は立民支持層の7割、共産支持層の6割をおさえた。金沢は独自の主張を強める。 静岡5区(希) 細野 豪志 50 無前

小選挙区の情勢は与野党どちらに傾いたか (序盤調査から終盤調査にかけて状況が変わった選挙区の数)

← 与党

野党 →

| | | | | | |
|------|----|------|------|----|------|
| 引き離し | 逆転 | 追い上げ | 追い上げ | 逆転 | 引き離し |
|------|----|------|------|----|------|

(注)「引き離し」は優勢から有力に浮上。「逆転」は劣勢から優勢・有力に。「追い上げ」は圏外から接戦に

| 終盤で引き離し | 終盤で逆転 | 終盤で逆転 | 終盤で引き離し |
|---|--|--|---|
| 山形1区(自) 山形2区(自) 山形3区(自) 群馬3区(自) 埼玉9区(自) 東京2区(自) 東京12区(公) 愛知15区(自) 兵庫5区(自) 鳥取2区(自) 大分3区(自) | 青森1区(自) 秋田1区(自) 埼玉1区(自) 神奈川7区(自) 新潟3区(自) 新潟6区(自) 岐阜4区(自) 愛知4区(自) 滋賀4区(自) 兵庫1区(自) 長崎3区(自) | 北海道4区(立) 北海道6区(立) 埼玉3区(立) 東京5区(立) | 北海道1区(立) 福島4区(立) 神奈川6区(立) 神奈川9区(立) 東京6区(立) 東京19区(立) 大阪4区(維) 大阪19区(維) |

| 終盤で追い上げ | 終盤で追い上げ |
|--|---|
| 宮城1区(自) 埼玉12区(自) 東京18区(自) 長野1区(自) 愛知12区(自) | 愛知13区(自) 大阪9区(自) 大阪12区(自) 徳島1区(自) 佐賀2区(自) |

三つどもえ

吉田・石原伸激戦続く 東京8区

埼玉1区(自) 吉村 豪介 40〇維新 中島 徳二 62 無新 武正 公一 60〇立元 佐藤 真実 37 無新 村井 英樹 41〇自前 村井と武正が横一線で競る。村井は自民支持層の9割弱、公明支持層の7割強を固めた。女性から比較的支持を集める。武正は立民支持層の9割、共産支持層の7割超に浸透する。無党派層からの支持は村井を上回る。吉村は維新支持層以外への広がりが見られない。

東京1区(立) 海江田万里 72〇立前 小野 泰輔 47〇維新 山田 美樹 47〇自前 内藤 久遠 64 無新 海江田と山田が引き続きどちらも譲らない。海江田は立民、共産各支持層の9割ほどを固めた。無党派層も4割超から支持を得る。70歳以上からの人気が高い。山田は公明支持層の9割弱、自民支持層の8割弱をまとめた。小野は追い上げに懸命。

東京8区(自) 石原 伸晃 64〇自前 吉田 晴美 49〇立前 笠谷 圭司 41〇維新 吉田が石原を僅差でリードする。吉田は立民支持層の浸透を広げて9割超を固めた。共産支持層の8割超、無党派層の6割弱にも浸透し、公明支持層の2割にも切り込む。石原は自民支持層の8割をまとめたが、公明支持層は7割弱にとどまる。

東京10区(自) 鈴木 庸介 45〇立前 鈴木 単人 44〇自前 山本 徹 46 無新 藤川 隆史 65〇維新 沢口 祐司 67 諸新 自民と立民がなお接戦を続ける。自民の鈴木は自民支持層の8割強、公明支持層の7割強をまとめた。無党派層からの支持は2割弱にとどまる。立民の鈴木は立民支持層の9割、共産支持層の8割弱を固めた。無党派層の3割超に浸透する。藤川は比例票を振り起こす。

明支持層はほぼ固めた。池内は共産支持層の9割をまとめるが、立民支持層は5割超にとどまる。阿部は維新支持層の7割弱をおさえ、自民支持層も2割近く取り込む。 神奈川4区(立) 山本 朋広 46〇自前 浅尾慶一郎 57 無元 早稲田夕季 62〇立前 大西 恒樹 57 無新 高谷 清彦 42〇維新 早稲田と浅尾がなお一進一退の攻防を続ける。早稲田は立民、共産各支持層の8割程度を固めた。高齢層の支持が比較的厚い。浅尾は自民支持層の4割、公明支持層の3割に浸透する。山本は自民支持層の5割弱しかまとめていない。高谷は独自の戦い。

愛知5区(立) 岬 麻紀 52〇維新 西川 厚志 52〇立前 神田 憲次 58〇自前 神田と西川がなお横一線で争う。神田は自民支持層の7割強、公明支持層の7割をまとめた。赤松広隆前衆院副議長の後継の西川は立民支持層の9割弱、共産

紙面の見方

選挙区(前回当選の党派)
日経 花子 40〇自前
① ②③④⑤⑥⑦

Kと裁判してる党弁護士法72条違反で、諸一諸派、無一無所属
▼選挙区の候補者の並べ方は届け出順。選挙区()は前回衆院選または直近の補選で議席を獲得した党派
①氏名
②投票日(31日)翌日時点の年齢
③選挙区()は重複立候補を示す
④党派
⑤自民党の前職は原則として派閥名を表記。㊦—細田派、㊧—竹下派、㊨—麻生派、㊩—二階派、㊪—岸田派、㊫—石破派、㊬—石原派
⑥前職、元職、新人の別
⑦四角囲み文字は推薦政党

調査と予測の方法

調査は読売新聞社と協力して実施した。基礎データの両面共有し、集計、分析、記事化はそれぞれが独自に。 有権者への調査は日経リサーチが26～28日、乱数番号(RDD)方式で無作為に作成した固定電話と携帯電話の番号に調査員と自動音声による電話

をかけた。 1つの小選挙区内で500人以上の有効回答を得るのを目標とした。調査員と自動音声の合計で18万2039人から有効回答を得た。 政党別の獲得議席数は過去の調査と投票結果との関係から予測モデルをつくり、シミュレーションで獲得する可能性のある議席の幅を推定した。この結果に取材による情勢判断を加えて最終的な予測議席数とした。